

# 国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H25.12.4 第185回国会第1号

12月4日（水）、第1回の合同審査会が開かれました。

## 1 国家の基本政策に関する件

・海江田万里君（民主）、石原慎太郎君（維新）及び渡辺喜美君（みんな）が、安倍内閣総理大臣と討議を行いました。

（討議者及び主な討議内容）

### 海江田 万 里君（民主）

- ・「特定秘密の保護に関する法律案」（第185回国会閣法第9号）（以下「特定秘密保護法案」という。）の審査については、世論調査でも多くの国民が反対、または時間をかけて議論することを望んでおり、会期にこだわることなく慎重な議論を行うべく、安倍総理にリーダーシップを発揮して欲しい。
- ・安全保障に関する秘密以外の外国との情報共有に必要最小限な秘密を指定する「特別安全保障秘密の適性な管理に関する法律案」（第185回国会衆法第11号）等の民主党が提示している特定秘密保護法案への対案についての評価と、特定秘密保護法施行後の担当大臣について伺いたい。
- ・特定秘密保護法案における秘密指定の統一基準を策定するための有識者会議、「情報保全諮問会議」（仮称）は第三者機関としてきちんと機能するのか。

### 石 原 慎太郎君（維新）

- ・特定秘密保護法案の成立を踏まえて、米国の中央情報局やイスラエルのモサドのような情報機関を設立すべきではないか。
- ・日本の個別的自衛権の行使を担保するために、新設された国家安全保障会議等で議論を行い、交戦規定を整備すべきではないか。

### 渡 辺 喜 美君（みんな）

- ・特定秘密保護法案については丁寧な審議を行う必要があり、会期を延長すべきではないか。
- ・景気は減速傾向にあり、消費増税も控えている。デフレ脱却を確実にするためにも、日本銀行は追加緩和を考慮すべきではないか。